

東京グレートサンタラン 2023 の収益やご寄付の一部は、
認定 NPO 法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパンを通じて
ケニアの先住民族の貧困家庭の子どもへの教育支援と、
フィリピンの先住民族の小学校のトイレ建設費に使われます。

1) フリー・ザ・チルドレンのケニア女子教育支援について



フリー・ザ・チルドレンは、2002年からケニア南西部の貧困地域で暮らすマサイなどの先住民族の人々が自立できるよう教育、水、保健医療、収入向上などの側面から包括的な国際協力活動を行っています。支援するケニアの地域では、女の子は結婚して夫や子どもを支えるのだから、教育はあまり必要ないと考えているおとながいます。しかし、性別にかかわらず、教育を受けることは子どもの大切な権利です。教育を受けなければ、貧困から抜け出したり、自立したりすることが難しくなります。

そこで、フリー・ザ・チルドレンでは、現地のパートナーNGOを通じて、女の子が質の良い教育を受けられるように、特に子を持つ親たちに教育の重要性と子どもの権利を伝え理解を促しています。また、この地域にはもともと中学校以上の学校がなく、通うために

は遠くまで行かなければいけないという地理的な問題があったため、女子中等学校と、男子中等学校「キサルニ中等学校」を建設し運営しています。この学校には寮があるため学校から遠い子どもでも、寮生活をおくることで学校で学ぶことができるようになりました。

経済的な課題があっても、女の子や男の子が質の良い中等教育（中学校と高校）を無料で受けられるよう、皆さまからのご寄付は、ケニアの貧困家庭の女の子が質の良い中等教育を受けられるよう、奨学金として教育支援に使わせていただきます。

2) フリー・ザ・チルドレンのフィリピン支援について



フリー・ザ・チルドレンは、1999年の団体設立当初より、フィリピンの貧困家庭出身の子どもへの教育支援や自立支援をいくつかの地域にて行っています。支援先の一つ、フィリピンの南にあるミンダナオ島の先住民族の村の子どもたちが通う小学校では、トイレがなくて子どもたちの健康が脅かされていることが分かりました。そこで、教育及び保健向上支援として、「小学校にトイレをおくろう！」プロジェクトを立ち上げるようになりました。

先住民族の人々が住むコミュニティの小学校のトイレは古く壊れており、修繕費用がないために放置されていることがわかりました。そのため子どもたちは衛生的な環境で用を足すことができておらず、特に女兒は学校での学びに支障をきたし欠席が見受けられます。トイレがないために、子どもたちは草むらで用を足したり、家に帰ったりしなければいけないということです。



左の先住民族の小学校の教員のジョアン先生によると、
「現在、小学校にトイレがないために、子どもたちは学校の近くの草むらで、野外排泄したり、家に帰るか、そもそも学校に来ない、という状況です。しかし、草むらには毒蛇や虫がいるので、野外排泄は危険です。子どもたちは排泄を我慢し、健康を害してしまうことがあります。」ということです。

そこで、皆さまからのご寄付は、ミンダナオ島の先住民族の子どもが通う村の小学校に、女子用と男子用の二つのトイレを建設するための費用に大切にに使わせていただきます。

東京グレートサンタランを通じて、
貧困や病気の子どもたちを応援して下さるみなさま、
本当にありがとうございます！ 🍪

認定 NPO 法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

<https://ftcj.org/>